

共同プロジェクト等応募要領（2022年8月開始）

共同プロジェクト等も、今回で2回目を迎えました。本プロジェクトは、科研費獲得を向上させるために、先生方の研究又は共同研究を推進することを目的としていますので、特に区分Bは、研究終了をB1は2023年7月、B2は2024年7月とし、共同プロジェクト等の研究成果が科研費の獲得につながるよう、2024年度または2025年度の科研費の申請日程に間に合わせるようスケジューリングをしました。

科研費や、NEDO、JST等の公的資金の獲得のために、共同プロジェクト等の積極的な応募をお願いいたします。

1. 応募区分と概要

区分B1・区分B2

概要	個人またはグループの発想に基づく研究テーマで、可能性や問題点を明確にした、新規性、独創性および革新性が内容の研究に加えて、グループの場合は、研究を遂行するために必要なチームを構築することを含むものとし、かつ、大学の科研費採択件数や採択率の向上に資するため、応募者らが科研費（基盤研究B）に応募するために役立つ予備的な成果が得られるものを対象とします。 研究期間を1年とするB1、研究期間を2年とするB2の2つの区分を募集します。 採択後、B1は2024年度科研費に、B2は2025年度科研費に応募することが条件です。	
区分B1	研究期間	原則1年（2022年8月1日～2023年7月31日）
	研究費	上限200万円
	採択件数	3件以内
	応募	個人またはグループ（構成は問わない）
区分B2	研究期間	原則2年（2022年8月1日～2024年7月31日）
	研究費	各年上限200万円
	採択件数	3件以内
	応募	個人またはグループ（構成は問わない）
補足	① 現在の共同プロジェクト等の区分Bに採択されている場合は応募できません。 ② 今年度応募予定の研究助成金と研究課題・研究内容が同じものは応募できません。 ③ 区分B1と区分B2への重複応募はできません。	

区分 C

概要	学内の総合力を利用した、未来の社会に必要とされる研究分野や他大学では行うことが難しい研究分野の創生を目指すもので、対象とする分野の近未来の動向を踏まえたものであることとし、かつ、本研究を本学の特徴のある研究に育てることや学外の公的研究費(JSPS、JST、NEDO など)の獲得を目指すための研究を対象とします。
研究期間	原則 2 年 (2022 年 8 月 1 日~2024 年 7 月 31 日)
研究費	各年上限 350 万円
採択件数	2 件以内
応募	原則、異なる 2 学部以上の教員 3 名以上で構成
補足	① 現在の共同プロジェクト等の区分 C に採択されている場合は応募できません。 ② 今年度応募予定の研究助成金と研究課題・研究内容が同じものは応募できません。

* 採択件数と研究費は、応募件数により調整する場合があります。

2. 応募について

(1) 応募資格

- ① 研究代表者及び研究分担者は、本学専任教員とします。
- ② 研究代表者については、研究期間終了まで本学専任教員としての任期を有する者とします。
- ③ 本学所定の e-learning による研究倫理教育を修了していない者は、研究代表者及び研究分担者としての応募は認めません。

(2) 提出書類

応募書類は、下表のとおりとし、区分 B1 および区分 B2 は、科研費の計画調書を流用いたします。

区分	応募用紙
区分 B (B1・B2 共通様式)	応募用紙 B-E x, B-Wo (ワードとエクセルの 2 種類の様式を作成)
区分 C	応募用紙 C

提出先：rsc-gp@stf.teu.ac.jp (実践研究推進課) あてにメール添付にて提出

提出締め切り：2022 年 6 月 15 日 (水) 14:00 厳守、締め切り後の書類差替えは認めません

(3) 応募にあたってのお願い

- ① 応募書類提出後に応募を取り消す場合は、速やかにご連絡ください。
- ② 応募書類の不明点に関する回答は、研究代表者にご連絡いたします。(研究代表者からの質問が望ましい。)
- ③ 応募にあたっては、本応募要領を十分に確認のうえ、作成してください

(4) スケジュール

応募締切 2022年6月15日(水) 14:00
書類審査・ヒアリング 2022年6月末～
採否連絡 2022年7月上旬(予定)、研究代表者宛に連絡します
研究開始 2022年8月～(予定)

(5) ヒアリング審査

書類審査の合格者にはヒアリング審査を実施します。
ヒアリングの審査スケジュール等については、別途連絡いたします。

4. 選定委員会・選定基準

学長を委員長とする共同プロジェクト等選定委員会における、書類審査及びヒアリング審査にて選定します。ヒアリングは主に研究代表者に行うが、必要に応じて研究分担者の参加も可とします。

(選定基準)

- ① 各応募区分の概要に沿った研究計画となっているか。
- ② 各応募区分の目標達成に向けたロードマップとなっているか。
- ③ 将来的に、科研費または学外競争的資金の獲得を目指す研究内容であるか。
- ④ 研究内容を達成するための遂行能力(研究業績も含む)を有しているか。
- ⑤ 研究を達成するために必要かつ十分な研究者で構成されているか。

5. 採択後の義務

- ① 研究成果は、国際的な学術誌(Scopusの対象となる雑誌)などに発表し、研究の国際化を推進してください。
- ② 研究を推進するための人材(大学院博士後期課程学生など)を確保して行うことが好ましい。
- ③ 共同プロジェクトをさらに発展させるために、大型の学外競争的資金(科学研究費(基盤研究S・A・B)、JST、NEDO等)を獲得するための応募を行ってください。
- ④ 本学が開催する研究推進活動(研究成果発表会、中小企業振興公社や東京商工会議所などの所管事業など)やホームページなどでの研究成果の公表に協力してください。

6. 研究費の使途について

共同プロジェクト等は、装置や機器の購入を目的としたプロジェクトではなく、新たな分野へのチャレンジや共同研究を推進するためのプロジェクトですので、研究費は、本プロジェクトの趣旨に沿った使用計画をたててください。また、年度末での予算消化と見なされる購入や研究計画書に未記入の用品・備品等の購入は認めない場合があります。また、使用ルールは、原則、科研費の使用ルールを適用します。

7. 研究報告書の提出について

共同プロジェクト等は、1年目が終了する時点での中間評価または研究終了後の最終評価を行うために、それぞれ、研究報告書を提出していただきます。複数年度の研究に関しては、進捗状況により、研究計画の見直しや支援の中止という対応をする場合があります。

8. 問い合わせ先

実践研究推進課 篠崎、花谷 rsc-gp@stf.teu.ac.jp (内線 2 2 1 1、2 2 1 2)